



めぐる水 中島省三・奥田博士展

2022年5月1日(日) - 5月31日(火)

時間 | 8:30-16:30(16時受付終了) 料金 | 無料(入山料が別途必要)

会場 | 三井寺(園城寺) 観音堂書院

〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町246 TEL 077-522-2238 URL <https://miidera1200.jp>

めぐる水

僕的一天は三井寺への散歩から始まる。展望台から見る琵琶湖はマンション等の建物が増えよ眺めとは言えませんが、とても遠く伊吹山や鈴鹿の山並み、湖上は北湖まで見えます。午後は自転車で湖岸を毎日走ります。広がりのある空間を感じながら日々移り行く風景を写真と短文で感じた事を湖畔通信として気楽にのせてゆこうと思います。

中島省三(映像作家)

近年薪窯をアトリエ横に自作し、古琵琶湖層の風化花崗岩粘土を使い、赤松を燃料に窯を焚いてきました。土の持つ原始の力づく、豊かな記憶を引き出す仕事をしたいと思っています。

奥田博士(陶芸家)



左 | 中島省三 右 | 奥田博士 撮影 | 奥田美恵子

中島省三 SHOZO NAKAJIMA

- 1940 滋賀県彦根市に生まれる
- 1967 小型飛行機自家用操縦士(国家資格)合格
- 1980 自主制作16ミリ映画「俺の見た琵琶湖」30分カラー映画
- 1982 「空景の琵琶湖」文化評論社(空景は京都新聞夕刊、1979年掲載)
- 1984 写真集「琵琶湖周遊」恒文社
- 同 映画「変わりゆく琵琶湖は今」総合開発批判の16ミリ映画
- 1995 ビデオ作品「琵琶湖からのメッセージ」異常湧水を取材
- 2003 空撮ビデオ作品「鳥瞰的琵琶湖周遊」60分(解説:中西正巳)
- 2016 個展「中島省三 写真展」(総本山三井寺 観音堂書院)

他、8ミリフィルムによる長編ドキュメンタリー映画「崖っ淵の琵琶湖」3時間ビデオ作品、写真集「親のびわこ 子のBIWAKO」等多数



作:中島省三



作:中島省三

奥田博士 HIROMU OKUDA

- 1949 滋賀県信楽町に生まれる。
- 先祖は江戸時代元禄年間、献上茶壺を作っていた屋号山三、三右衛門
- 1968 近江化学陶器株式会社デザイン室にて大阪万博太陽の塔黒い顔、制作。岡本太郎氏の陶芸手びねり作品全て制作。当時19歳
- 1972 退社、独立。22歳
- 1989 エイジアンカルチュラルカウンスル(A, C, C)の奨学金を得て、アーチブレイファンデーションにて、半年間滞在作陶 (USA)
- 1990 カリフォルニア州立大学、メインアートギャラリー個展
- 1999 日本の現代陶芸展 前衛の動向 (フォンダンフェロン美術館、オランダ)
- 2000 国際陶芸シンポジウム招待、展覧会 (ケチケメート、ハンガリー)
- 2002 世界陶彫展、台湾台北県立鶯歌陶磁博物館開館記念展
世界陶彫展招待展覧会、ワークショップ
- 2008 世界全米陶芸会議メインゲストアーティスト招待、
デモンストレーショングリーンハウス展覧会 (ピッツバーグ、アメリカ)
- 2016 国立台湾工芸研究発展中心台北当代工芸設計。
ゲストアーティスト、レクチャー、ワークショップ

他、個展、展覧会、ワークショップ多数



時空 (55×90×45cm) 作:奥田博士



弦(50×30×24cm) 作:奥田博士

奥田 美恵子 ワークショップ『土と遊ぼうー世界でひとつだけの"かたち"を見つけようー』

“いのちのかたち”がどこから来るのか。“かたち”が生まれてくるそんな不思議な場に参加しませんか？

2022年5月28日(土) 第一部 10:00-11:30 | 第二部 13:30-15:00

定員 各30名 会場 三井寺事務所2階 参加費 1,000円(入山料が別途必要) 対象年齢 7歳から

参加方法 「三井寺 めぐる水実行委員会」に電話またはメールにてお申し込みください。

TEL 077-522-2238 | MAIL saigoku14@apricot.ocn.ne.jp

完成した作品は7月開催予定の『いのちのかたち』展での展示後、お持ち帰りいただけます。

